



公益社団法人 日本航空機操縦士協会

メールマガジン Vol.170 2025/10/15



いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★————INDEX————★

- [1] 【常務理事コラム】大阪万博から飛び立つ eVTOL : AI との信頼が拓く空の未来
- [2] 【航空局】米軍の無操縦者航空機「トライトン (MQ-4)」の一時展開に伴う、三沢飛行場周辺を飛行する VFR 機の安全確保について
- [3] 【お知らせ】ATC コミュニケーションハンドブックの英語版の発行ならびに日本語版の表現の一部見直しについて
- [4] 【JAPA SHOP】2025 年版学科試験 スタディガイド販売開始のお知らせ
- [5] 【会員限定】JAPA 九州支部主催「福岡空港タワー見学」
- [6] 【お知らせ】航空手袋（パイロットグローブ）の販売終了について
- [7] 【採用情報】航空局操縦職員の採用について
- [8] 【VOICES FEEDBACK】
 - <①>エアコン車と ASU の誤認
 - <②>動かぬ無人航空機
- [9] 【お知らせ】JAPA E-Journal の公開
- [10] 【お知らせ】セミナー・イベント
- [11] 【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について



- [1] 【常務理事コラム】大阪万博から飛び立つ eVTOL : AI との信頼が拓く空の未来

常務理事 管 聖



2025年大阪・関西万博の空で、「空飛ぶクルマ」ことeVTOL（電動垂直離着陸機・Vertical Take-Off and Landing）がデモ飛行を成功させたことは、未来の移動を現実にした象徴的な瞬間でした。電動ならではの低騒音・ゼロエミッション（排出ガスがない）と、滑走路不要の垂直離着陸（VTOL）能力を持つeVTOLは、都市の渋滞解消や地方アクセス改善として、世界中から注目を集めています。

この革新を推進するのは、既存の航空業界との強固な連携です。ANAやJALは、運航事業者として海外メーカーと手を組み、長年の安全運航ノウハウをこの新しいモビリティに注ぎ込んでいます。eVTOLは、長距離の幹線航空を補完する「空のフィーダーサービス・もしくはエアータクシー」として、空港と都市部を結ぶ新たな空路を創造します。

しかし、eVTOLの最終目標である**「パイロットレス（無人）飛行」は、解決せねばならない様々な問題があります。映画『ターミネーター』が警告したように、技術が人間の制御を超えてしまう可能性は、常に念頭に置くべき教訓ではないでしょうか？eVTOLは複雑な都市上空を飛び、予期せぬ事態が起こった際、我々パイロットである人間の経験に基づく即時の判断が最後の安全網となってきたのが航空の世界です。システムへの過度な依存がもたらすリスク**をどう管理するかが、今後の重要な課題と考えます。

万博での華々しいスタートを切った今、私たちは、技術の進化だけでなく、航空業界の安全文化を未来の空へと継承し、社会的な信頼を構築する責任を負っています。



[2] 【航空局】米軍の無操縦者航空機「トライトン（MQ-4）」の一時展開に伴う、三沢飛行場周辺を飛行するVFR機の安全確保について



航空局 安全部 安全政策課より、米軍の無操縦者航空機であるトライトン（MQ-4）について、本年10月30日から三沢飛行場に一時展開されるとのお知らせがございました。

当該トライトンは遠隔地からの無線操縦及び自律飛行プログラムにより無人での飛行を行うことから、一層の安全を確保するため、三沢飛行場周辺の飛行を予定しているVFR機の操縦者がならびに関連事業社各位におかれましては、以下の事項を確実に確認、実施頂きますよう、よろしくお願ひいたします。

詳細はこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/11309>



[3] 【お知らせ】ATCコミュニケーションハンドブックの英語版の発行ならびに日本語版の表現の一部見直しについて



令和6年6月に公表された羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会の中間取りまとめを踏まえ改訂された「ATCコミュニケーションハンドブック 滑走路誤進入を防止するために」（令和7年6月）について、今般、英語版が作成されるとともに、それに合わせ日本語版の表現の一部見直しが行われました。

引き続き滑走路誤進入の防止を図るよう、同ハンドブックをご活用ください。

問い合わせ先：

国土交通省 航空局 交通管制部 交通管制企画課
TEL：03-5253-8111 （内線51111、51159）

なお、最新の ATC コミュニケーションハンドブックは、
以下の URL からも入手可能です。

航空局 HP : https://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk1_000028.html



[4] 【JAPA SHOP】2025 年版学科試験 スタディガイド販売 開始のお知らせ

2017 年以降、航空従事者技能証明学科試験の問題が国土交通省ホームページに公開されてきました。日本航空機操縦士協会(JAPA)は、官民合同の「航空従事者学科試験問題検討会」を通じて、標準的な問題の精査と整理を行い、約 2,500 間から厳選した問題をスタディガイドとして毎年発行してきました。

しかし、2023 年 11 月から試験は CBT(Computer-Based Testing)方式となり、非公開のデータベースからランダムに出題される形式に変更されました。それに伴い過去問の精査と整理を目的とした検討会はその任務を終えたとして解散になりました。

2024 年 8 月に国土交通省がホームページにおいて、例題集(サンプル問題)として、CBT 方式の問題を公開されたことから、それを受けて、新たに航空従事者技能証明学科試験を受験する方の手助けとなるよう、JAPA に学科試験問題例題集編集検討会が設置され、このスタディガイドの刊行に至りました。

詳細やご購入はこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>



[5] 【会員限定】JAPA 九州支部主催「福岡空港タワー見学」

主催：日本航空機操縦士協会 九州支部

日時：2025年10月30日(木) 14:15～15:35 予定

14:15～14:30 概要説明・質疑

14:35～15:00 統括コントロール室

15:05～15:35 管制官との意見交換会

※集合時間は10分前、意見交換会は30分予定

場所：国土交通省 大阪航空局 福岡空港事務所

(福岡市博多区大字雀居 2025番地3)

募集人員：25人(JAPA会員)

備考：こちらからご応募ください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdLER5BstCyC1bk99lqxen2bVDXtkh2hkoNm8BnAYE42JiSQ/viewform>

- ・保安上の理由で、身分証明書の写しが必須となっています。
- ・応募フォームに画像ファイルをアップロード願います。
- ・何らかのGoogleアカウントにログインが必要です。
- ・頂いた個人情報は本イベントのみに使用し使用後は速やかに破棄いたします。

応募締切：2025年10月20日(月)

※定員に達し次第締め切ります。



[6] 【お知らせ】航空手袋（パイロットグローブ）の販売

終了について



いつも JAPASHOP をご利用いただき、誠にありがとうございます。

現在取り扱っております航空手袋ですが、2025年12月26日

12:00（正午）迄のご注文分をもちまして、販売を終了することといたしましたので、ご案内申し上げます。

尚、各サイズの在庫が無くなり次第、販売を終了する場合もございますので、ご注意願います。
ご不便をおかけし申し訳ございませんが、
今後とも JAPASHOP をよろしくお願ひいたします。

詳細やご購入はこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/11265>



[7] 【採用情報】航空局操縦職員の採用について



詳細は下記 URL をご参照ください。

・飛行検査官

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2025/09/64f292c96f151e3b5afe052f139ee3e9.pdf>

・航空従事者試験官

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2025/09/9e6963761f513a0afba6a0f66ab5cf41.pdf>

・航空事業安全監督室専門官

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2025/09/66a3171aa0ab6cdb9a530b923072bf07.pdf>



[8] 【VOICES FEEDBACK】

<①>エアコン車と ASU の誤認

<②>動かぬ無人航空機



①当該便は APU に関して MEL を適用して運航していた。到着

後、「エアコンを接続しますか」と確認されたため依頼した。マニュアル上、エアコン車配置空港であったため、エアコン車を接続する手順（Pack Off）を行ったところ、異なる音が聞こえたことでエアコン車でなく ASU（Air Starter Unit）のエアコンモードであることに気づき、ASU のエアコンモードの手順（Pack On, Bleed Valves Close）を行った。当該空港にはエアコン車が配置されているものの、作業資格者がいないとのことで、実質的に使用不可の状態であった。

②ある地域の山中で送電線巡視（通称：電バト）実施中、空中停止しているような物体が視界に入った。最初はトンビかと思い、巡視を継続しながらその物体に接近してみると、シングルロータータイプの無人航空機が巡視対象の送電線の横でホバリングしていることが確認できた。無人航空機の動向を注視しつつさらに接近したが、あちらに動く様子がなかったため迂回した。国交省の「無人航空機の安全な飛行のためのガイドライン」によれば、無人航空機は航空機と衝突しそうな場合は、降下させる等のルールの記載があるが、無人航空機の回避等の動きはなかった。低空を飛行する際のリスクを再認識した。

☞ VOICES コメント

ドローン自体を目視で発見することは難しいですが、特に静止状態では周りに溶け込み視認が難しいです。本事例では静止しているドローンを発見できており素晴らしいですね。

国交省の「無人航空機の安全な飛行のためのガイドライン」
(https://www.mlit.go.jp/koku/koku_fr10_000_041.html)
の他、航空法「第百三十二条の八十六 三 航空機又は他の無人航空機との衝突を予防するため、無人航空機をその周囲の状況に応じ地上に降下させること」となっていますが、ドローン運航者がどれくらい危険度を認識していたかは疑問です。進路権は航空機同士しか設定されていませんが、衝突防止の観点から迂回したのは安全上仕方がなかつたものと思われます。



[9] 【お知らせ】JAPA E-Journal の公開



E-Journal を公開致しました。

ぜひご覧ください。

«ATS 委員会»

【JAPA E-Journal 2025-009】ATC 再発見 Vol.049

「適切でない管制指示… MEA 未満の高度の指定」

<https://www.japa.or.jp/e-journal>



[10] 【お知らせ】セミナー・イベント



«ATS シンポジウム»

10月18日 オンライン開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=8>

«Fly with us～空の仕事ワークショップ～»

10月25日 大阪開催

11月29日 愛知開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

«航空気象シンポジウム»

11月15日 東京/ハイブリット形式（来場+オンライン）

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=7>

«航空安全講習会»

11月23日 大阪 / ハイブリット形式（来場+オンライン）

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

«TEM/CRM セミナー»

12月6日 大阪開催※基礎コース

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

«冬休みこども航空教室・操縦体験»

12月7日 東京開催 (JAPA会議室)

12月14日 東京開催 (JAPA会議室)

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=11>

«RNAV 講演会»

2026年1月11日 東京/ハイブリット形式(来場+オンライン)

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=2>



[11] 【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について



JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページよりご覧ください。

オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐに入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

* * * * *

★次回の配信は 11 月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法

については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
